

令和4年9月6日

部 課 室 長 等 各 位

総 務 部 長

令和5年度当初予算編成方針について

本市の財政見通しは、長引く新型コロナウイルス感染症の拡大や不安定な世界情勢により地域経済が深刻な影響を受け、市税収入をはじめとした歳入において不確定な要素が多く大幅な増収も見込めないことから、厳しい状況が続くと考えられます。

そのような中、感染症の拡大防止と地域経済対策を最優先としながら、「第6次総合計画」や「観光戦略プラン」など各種計画に位置付けた取組を着実に推進し、「とことん住みたい 世界とつながる 魅力創造都市」を目指して、多様化・高度化する行政サービスを提供できる予算とする必要があります。

以上を踏まえ、令和5年度当初予算は、下記の方針に基づいて編成することとします。

記

令和5年度 予算編成方針

1 基本方針

令和5年度は、4月に市長選挙が予定されていることから、当初予算においては経常的な経費や継続的な事業に係る経費を中心とした「骨格予算」として編成する。

ただし、要求段階においては、新規事業などの政策的経費を含む**通年ペースで要求**を行い、編成過程において当初予算事業と補正予算事業（肉付け予算）に振り分ける。

2 重要施策

「第6次総合計画」をはじめ各種計画・宣言に関係する事業については、それぞれの方針と整合を図りつつ、事業の実現性、効果及び効率性などを十分検討した上で要求すること。

なお、要求に当たっては、前例にとらわれることなく、創意工夫と柔軟な発想をもって取り組むこと。

3 事務事業の見直し

継続して実施する事業については、内容や実施方法が市民ニーズを捉えているか、役割や目的を十分果たしているか検証し、縮小・廃止を含めた見直しを行うこと。

4 歳出の抑制

経常的経費の要求に当たっては、コロナ禍における原油価格、物価高騰の影響分を除き、令和4年度当初予算からの削減に努めること。

5 財源の確保

市税や、国・県支出金の確保はもとより、ふるさと納税制度の活用やクラウドファンディングなど新たな資金調達の手法についても積極的に検討すること。

6 公共施設のあり方

公共施設に係る修繕については、施設点検結果などを踏まえた要求内容とすること。併せて施設の統廃合の前倒しや、集約化・複合化・長寿命化を含めた再編の可能性なども十分検討した上で要求すること。

7 特別会計・企業会計

特別会計及び企業会計については通年予算とし、独立採算の原則に基づく自立した経営の確立に務めること。

【担当】 財政課 財政チーム(内線 3223)